

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【公開番号】特開2019-111024(P2019-111024A)

【公開日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2019-027

【出願番号】特願2017-245927(P2017-245927)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月19日(2021.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せである表示結果組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

導出を許容する表示結果組合せを決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作される導出操作手段と、

表示結果組合せを導出させる制御を行う導出制御手段と、

演出の制御を行う演出制御手段とを備え、

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が通常決定結果である場合に、前記導出操作手段の操作態様に関わらず、特定識別情報が揃う特定表示結果組合せを導出し、

前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果である場合に、特定操作態様で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果組合せを導出し、前記特定操作態様とは異なる操作態様で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果組合せとは異なる非特定表示結果組合せを導出し、

前記非特定表示結果組合せは、少なくとも一の前記特定識別情報が含まれるが、前記特定識別情報が揃わない表示結果組合せであり、

導出される表示結果組合せを示唆する示唆演出制御を行うことが可能であり、

前記演出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記通常決定結果および前記特定決定結果のいずれであっても、前記特定表示結果組合せおよび前記非特定表示結果組合せのいずれが導出されるかに関わらず、同一の示唆演出制御を行う、スロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

(A) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せである表示結果組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

導出を許容する表示結果組合せを決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作される導出操作手段と、

表示結果組合せを導出させる制御を行う導出制御手段と、

演出の制御を行う演出制御手段とを備え、

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が通常決定結果である場合に、前記導出操作手段の操作態様に関わらず、特定識別情報が揃う特定表示結果組合せを導出し、

前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果である場合に、特定操作態様で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果組合せを導出し、前記特定操作態様とは異なる操作態様で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果組合せとは異なる非特定表示結果組合せを導出し、

前記非特定表示結果組合せは、少なくとも一の前記特定識別情報が含まれるが、前記特定識別情報が揃わない表示結果組合せであり、

導出される表示結果組合せを示唆する示唆演出制御を行うことが可能であり、

前記演出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記通常決定結果および前記特定決定結果のいずれであっても、前記特定表示結果組合せおよび前記非特定表示結果組合せのいずれが導出されるかに関わらず、同一の示唆演出制御を行う。

(1) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せである表示結果組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシン(たとえば、スロットマシン1)において、

導出を許容する表示結果組合せを決定する事前決定手段(たとえば、メイン制御部41が実行する内部抽選処理)と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作される導出操作手段(たとえば、ストップスイッチ8L, 8C, 8R)と、

表示結果組合せを導出させる制御を行う導出制御手段(たとえば、メイン制御部41が実行するリール制御処理)と、

演出の制御を行う演出制御手段(たとえば、サブ制御部91が実行する演出を制御する処理)とを備え、

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が通常決定結果(たとえば、通常リップ当選)である場合に、前記導出操作手段の操作態様に関わらず、特定識別情報(たとえば、リプレイ図柄)が揃う特定表示結果組合せ(たとえば、図柄組合せ「リプレイ - リプレイ - リプレイ」)を導出し(たとえば、図4(a2)に示されるように、通常リップが当選した場合に、ストップスイッチ8L, 8C, 8Rの操作手順に関わらず、リプレイ図柄が揃う図柄組合せ「リプレイ - リプレイ - リプレイ」が導出され)、

前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果(たとえば、昇格右リップ当選)である場合に、特定操作態様(たとえば、右第1停止以外の操作)で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果組合せ(たとえば、図柄組合せ「リプレイ - リプレイ - リプレイ」)を導出し、前記特定操作態様とは異なる操作態様(たとえば、右第1停止操作)で前記導出操作手段が操作されたときには前記特定表示結果組合せとは異なり前記特定識別情報が揃わない非特定表示結果組合せ(たとえば、図柄組合せ「リプレイ - リプレイ - ベル」)を導出し(たとえば、昇格右リップが当選した場合に、図4(b3)に示すように、右第1停止以外の操作でストップスイッチ8L, 8C, 8Rが操作されたときにはリプレイ図柄が揃う図柄組合せ「リプレイ - リプレイ - リプレイ」が導出され、図4(b2)に示すように、右第1停止操作でストップスイッチ8L, 8C, 8Rが操作されたときに

はリプレイ図柄が揃わない図柄組合せ「リプレイ - リプレイ - ベル」が導出される）、

前記演出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記通常決定結果および前記特定決定結果のいずれであっても、前記特定表示結果組合せおよび前記非特定表示結果組合せのいずれが導出されるかに関わらず、同一の演出制御を行う（たとえば、図4（a1），（a2），（b1）～（b3）に示すように、通常リップおよび昇格右リップのいずれが当選しても、図柄組合せ「リプレイ - リプレイ - リプレイ」および図柄組合せ「リプレイ - リプレイ - ベル」のいずれが導出されるかに関わらず、同一の示唆演出および入賞時演出が実行される）。